

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農林産物を守る 有害鳥獣対策事業
事業主体 (連絡先)	大桑村 木曾郡大桑村大字長野 2778 番地
事業区分	(6) イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,620,000円 (うち支援金: 1,215,000円)

事業内容

農林産物を鳥獣被害から守るため鳥獣被害対策実施隊によるパトロールなど有害鳥獣対策事業で使用するデジタルトランシーバーなどを購入。

- ・デジタルトランシーバー 35台
- ・マイク 35個
- ・イヤホン 35個
- ・車載型デジタル簡易無線機 2台
- ・アンテナセット 2組



【有害鳥獣パトロール】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 4月から11月に原則毎日(4時間)有害鳥獣パトロールを実施しているが、デジタル無線機で隊員間の連絡が取れるようになり、決められた時間の中で安全で効率的なパトロールができるようになった。
 - ・パトロール中におけるサル追い払い実績(9月～11月) H28年度 7件 H29年度 11件 4件増
- ② 今までは有害駆除捕獲活動(個体数調整)の際には、捕獲を行う隊員同士の連絡手段が無く、安全を確保できないため、猟銃を使用した巻き狩りによる捕獲ができなかった。デジタル無線機の導入により安全な駆除活動が可能となった。
 - ・(11月末現在)
 個体数調整 12頭(4月 1日～11月30日)
 狩 猟 6頭(11月15日～11月30日)

【目標・ねらい】

- ① 効率的なパトロールの実施
- ② 猟銃を使用した巻き狩りによる安全な捕獲活動(個体数調整)の実施

※自己評価【 B 】

【理由】

・効率的で安全な有害鳥獣対策事業が実施できるようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

有害鳥獣パトロールでは隊員間のパトロール中の連絡が取れあうようになり、効率的な活動が行われるようになった。今後は、これまで行えなかった猟銃を使用した巻き狩りを行い、被害が続いているイノシシや近年増えてきているニホンジカの捕獲駆除(個体数調整)に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある